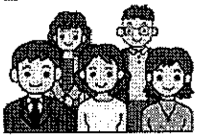
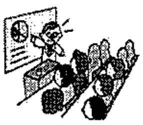
ー学校教育目標ー	学校便り　　第１３号	H30年5月22日（火）
豊かな心をもち 自ら学ぶたくましい子 (1)よく考えねばり強く学ぶ子 (2)心豊かで思いやりのある子 (3)すすんで体をきたえる元気な子	# 仲井真っ子	那覇市立 仲井真小学校 発行責任者 校長 宮里　寧 TEL 917-3330

授業参観



「日曜授業参観」！

５月２０日（日）の日曜授業参観は大勢の参加で，どの学級も教室から保護者があふれ，本校の教育に対する強い思いを感じることができました。お忙しい中での参観ありがとうございました。



３校時は，体育館で株式会社興洋電子ＩＣＴ支援グループ主任の「上地弘美」さんに講話を行っていただきました。講話の内容は「ＳＮＳ等のトラブルと安全について」です。スマートフォンの普及により，子どもたちの生活リズムの乱れなどを心配している保護者も多いと思います。中でも気になるのが，いじめや犯罪などのトラブルの原因にもなりかねない，スマートフォン（スマホ）などの情報端末機器をめぐる問題でしょう。

話は，「ＳＮＳとは？」から始まり，無料通話アプリなどでの子どもたちの間で実際に起きたトラブルについての紹介がありました。例えば，集合場所に「何でくるの？」と返信をすると，相手が「なんでくるの？」と誤解してしまい，「ムカッ！イラッ！」として喧嘩になってしまったというのです。「何でくるの？は，交通手段で，車でくるのか？モノレールなのか？徒歩なのか？」を聞いているのですね。会話の流れが速いために，ちょっとした言葉の誤解や感情の行き違いが生じたようです。

内閣府の調査によると、小学生（10 歳以上）の 23.7 ％、中学生の 45.8 ％、高校生の 93.6 ％がスマホを利用しているそうです。まだ小学生だから安心とも言えません。現在の携帯用ゲーム機は，インターネット接続が可能になっており，それでネットの掲示板や SNS などを利用することもできるからです。子どもたちにどんな危険があるのか，どうしたらそれを防げるのかなどの基本的な知識を保護者も身に付けることが必要だとお話されていました。

最後に，「話し合っていますか？家庭のルール」という内容の動画が流されました。スマホや携帯用ゲーム機などをめぐる家のルールでは、「お互いに納得できるよう，話し合って作る」「子供が守れるルールを作る」「具体的なルールを作る」「守れなかったらどうするか決めておく」などのルールづくりのポイントが示されていました。子どもの成長などに合わせて「ルールを作ったあとの見直し」が大切であることなども説明していました。

この講話を機会に「安全で安心なインターネット利用のために」スマホやゲーム機などの情報端末機器について，子どもたちと一緒に「家庭のルール」を話し合ってはいかがでしょうか。

教育実習生の仲宗根直子先生を紹介します！！

２０（日）から，保健室を中心に仲宗根直子（なかそねなおこ）先生が教育実習生としての研修を行います。保健室の長田沙織先生が指導教諭として指導なされます。たくさんの仲井真っ子と仲良くなり，多くのことを先生方や子ども達から学んで，立派な保健室の先生になれるといいなあと思います。

直子先生から皆さんにメッセージをいただきました。

「養護教諭の教育実習生でお世話になります。子ども達とのふれ合いを大切に，保健室経営を４週間学んでいきたいと思います。よろしくお願いします。」